



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月30日

上場会社名 株式会社アートネイチャー 上場取引所 東
コード番号 7823 URL <https://www.artnature.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役会長兼社長（氏名） 五十嵐 祥剛
問合せ先責任者（役職名） 上席執行役員財務経理部長（氏名） 井上 裕章（TEL）03-3379-3334
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	21,485	1.7	1,382	20.5	1,464	33.7	848	36.5
2025年3月期中間期	21,131	△0.7	1,146	△40.1	1,095	△44.2	621	△48.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 730百万円（20.1％） 2025年3月期中間期 608百万円（△53.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	26.06	25.64
2025年3月期中間期	19.10	18.83

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期中間期	50,248	27,388	53.8	829.39
2025年3月期	49,678	27,055	53.8	820.93

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 27,018百万円 2025年3月期 26,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2026年3月期	—	14.00			
2026年3月期（予想）			—	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	47,623	9.9	2,778	27.4	2,844	26.4	1,464	78.2	44.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	34,393,200株	2025年3月期	34,393,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,817,440株	2025年3月期	1,836,740株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	32,561,194株	2025年3月期中間期	32,536,600株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在まで入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期の経営成績

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、原材料価格の高止まりや人手不足の継続、円安進行などの影響を受けつつも、個人消費やインバウンド需要の回復を背景に、緩やかな回復基調を示しました。一方で、米国の関税政策の動向や地政学的リスクの長期化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、中期経営計画「アートネイチャーAdvanceプラン」の最終年度を迎え、当社グループの強みを活かして、さまざまな課題に挑戦し、業績や毛髪業界シェアを伸長させるとともに、新領域の事業を獲得し拡充することで、「次代を切り拓くアートネイチャー」に飛躍させるべく、事業活動を実施してまいりました。

その結果、当中間連結会計期間における業績は、リピート売上が前年同期を上回った結果、売上高は、21,485百万円(前年同期比1.7%増)となりました。また、利益面では販売費および一般管理費が増加したものの、売上高の増加等により営業利益は1,382百万円(同20.5%増)、経常利益は1,464百万円(同33.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は848百万円(同36.5%増)となりました。

セグメント別の売上高の状況は次のとおりです。

<男性向け売上高>

男性向け売上高については、新規売上は効果的な広告宣伝の実施、リピート売上についても顧客定着策の推進等を実施し、新規・リピートともに前年同期比増加した結果、11,570百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

<女性向け売上高>

女性向け売上高については、新規売上は前年同期比微減で推移したものの、リピート売上については、ピンのいらないウィッグの買い替え需要を捉え、前年同期比増加した結果、6,526百万円(同3.4%増)となりました。

<女性向け既製品売上高>

女性向け既製品売上高については、リピート販売の好調等により2,677百万円(同2.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比569百万円増加し、50,248百万円となりました。これは、売掛金が減少したこと等により流動資産が461百万円減少した一方、有形固定資産、投資その他の資産が増加したこと等により固定資産が1,030百万円増加したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比236百万円増加し、22,859百万円となりました。これは、未払金が減少した一方、未払法人税等が増加したこと等により流動負債が69百万円増加したこと、退職給付に係る負債が増加したこと等により固定負債が166百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比333百万円増加し、27,388百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は以下のとおりであり、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末比115百万円増加し、18,141百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前中間純利益1,401百万円に加え、減価償却費613百万円、売上債権の減少473百万円があった一方、法人税等の支払164百万円、その他の営業支出61百万円等により、2,222百万円の資金収入(前年同期は1,007百万円の資金収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出1,254百万円、無形固定資産の取得による支出233百万円等により、1,591百万円の資金支出(前年同期は996百万円の資金支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額455百万円により、455百万円の資金支出(前年同期は455百万円の資金支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日に発表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,163	18,244
売掛金	3,093	2,613
有価証券	32	30
商品及び製品	3,182	3,287
仕掛品	214	189
原材料及び貯蔵品	1,893	1,844
その他	1,297	1,204
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	27,870	27,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,190	5,430
その他(純額)	4,740	5,294
有形固定資産合計	9,930	10,725
無形固定資産		
その他	1,821	1,805
無形固定資産合計	1,821	1,805
投資その他の資産		
その他	10,688	10,940
貸倒引当金	△631	△631
投資その他の資産合計	10,056	10,308
固定資産合計	21,808	22,839
資産合計	49,678	50,248

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	343	316
未払金	2,183	1,683
未払法人税等	265	731
前受金	6,169	6,186
賞与引当金	1,103	1,104
役員賞与引当金	142	75
商品保証引当金	45	41
その他	3,256	3,441
流動負債合計	13,510	13,580
固定負債		
退職給付に係る負債	4,096	4,205
資産除去債務	3,163	3,213
その他	1,854	1,860
固定負債合計	9,113	9,279
負債合計	22,623	22,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,667	3,667
資本剰余金	3,631	3,634
利益剰余金	19,742	20,134
自己株式	△1,031	△1,020
株主資本合計	26,009	26,416
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63	110
為替換算調整勘定	163	54
退職給付に係る調整累計額	490	436
その他の包括利益累計額合計	717	601
新株予約権	317	360
非支配株主持分	11	9
純資産合計	27,055	27,388
負債純資産合計	49,678	50,248

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	21,131	21,485
売上原価	7,251	7,289
売上総利益	13,879	14,195
販売費及び一般管理費	12,732	12,813
営業利益	1,146	1,382
営業外収益		
受取利息	24	39
為替差益	—	38
その他	14	18
営業外収益合計	38	95
営業外費用		
為替差損	27	—
貸倒引当金繰入額	49	—
支払保証料	8	8
その他	4	5
営業外費用合計	90	13
経常利益	1,095	1,464
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	15	63
特別損失合計	15	63
税金等調整前中間純利益	1,080	1,401
法人税、住民税及び事業税	463	615
法人税等調整額	△4	△63
法人税等合計	458	552
中間純利益	622	848
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	621	848

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	622	848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	47
為替換算調整勘定	6	△110
退職給付に係る調整額	△23	△54
その他の包括利益合計	△13	△117
中間包括利益	608	730
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	608	732
非支配株主に係る中間包括利益	0	△2

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,080	1,401
減価償却費	563	613
減損損失	15	63
貸倒引当金の増減額(△は減少)	49	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	44	0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△60	△67
商品保証引当金の増減額(△は減少)	2	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	72	39
受取利息	△24	△39
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	597	473
棚卸資産の増減額(△は増加)	100	△64
仕入債務の増減額(△は減少)	50	△25
前受金の増減額(△は減少)	△73	16
その他	△1,280	△61
小計	1,137	2,345
利息の受取額	26	40
法人税等の支払額	△157	△164
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,007	2,222
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△26	—
定期預金の払戻による収入	—	26
有形固定資産の取得による支出	△457	△1,254
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△361	△233
長期貸付けによる支出	△50	—
長期貸付金の回収による収入	0	0
敷金及び保証金の差入による支出	△38	△139
敷金及び保証金の回収による収入	23	75
その他	△86	△66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△996	△1,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△455	△455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△455	△455
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	△60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△428	115
現金及び現金同等物の期首残高	19,208	18,025
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,780	18,141

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	男性向け 事業	女性向け 事業	女性向け 既製品事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	11,480	6,314	2,608	20,404	726	21,131	—	21,131
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	1,434	1,434	△1,434	—
計	11,480	6,314	2,608	20,404	2,161	22,565	△1,434	21,131
セグメント利益	7,174	4,024	2,099	13,298	686	13,984	△105	13,879

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造子会社等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△105百万円は、セグメント間取引に係る棚卸資産調整額等の消去であります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントのセグメント利益合計額と中間連結損益計算書の営業利益との差異の調整

(単位:百万円)

	金額
報告セグメント計	13,298
その他(注) 1	686
合計	13,984
調整額(注) 2	△105
中間連結損益計算書の売上総利益	13,879
販売費及び一般管理費	12,732
中間連結損益計算書の営業利益	1,146

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	男性向け 事業	女性向け 事業	女性向け 既製品事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	11,570	6,526	2,677	20,774	710	21,485	—	21,485
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	1,432	1,432	△1,432	—
計	11,570	6,526	2,677	20,774	2,142	22,917	△1,432	21,485
セグメント利益	7,285	4,181	2,165	13,633	673	14,306	△111	14,195

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△111百万円は、セグメント間取引に係る棚卸資産調整額等の消去であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントのセグメント利益合計額と中間連結損益計算書の営業利益との差異の調整

(単位:百万円)

	金額
報告セグメント計	13,633
その他(注) 1	673
合計	14,306
調整額(注) 2	△111
中間連結損益計算書の売上総利益	14,195
販売費及び一般管理費	12,813
中間連結損益計算書の営業利益	1,382

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当中間連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。